

構想会議の意見を踏まえ、将来の西鉄久留米駅周辺を描く

**人が集い、人が安らぐ、
人にやさしい、人中心のまちなか**



方針

1

快適性に優れた

「訪れやすく、回遊の起点となる交通結節点」



▼バス待合空間(福岡市)



▲交通広場に隣接した市民が自由に憩えるオープンスペース(日向市)
(出典: 良好な道路景観と賑わい創出のための事例集(H26年3月))

方針2

心地よく移動できる

「誰もがめぐりたくなるまち」

歩行者・自転車が安心して移動できる空間形成
道路空間や低未利用地を活かした賑わい・憩いの場の創出



▲歩道を活用した物販や1階部分の壁面透明性を確保
(出典:<https://portlandmaine.com/explore-downtown/>)

方針3

賑わいが持続する

「将来への期待にあふれるまち」

災害時の避難や支援拠点の形成

都市機能の集積と連動したまちなか居住の促進



▲複数の都市機能が集積したJR福井駅の再開発ビルと併設された屋根付き屋外広場（出典：福井市にぎわい交流施設HP）

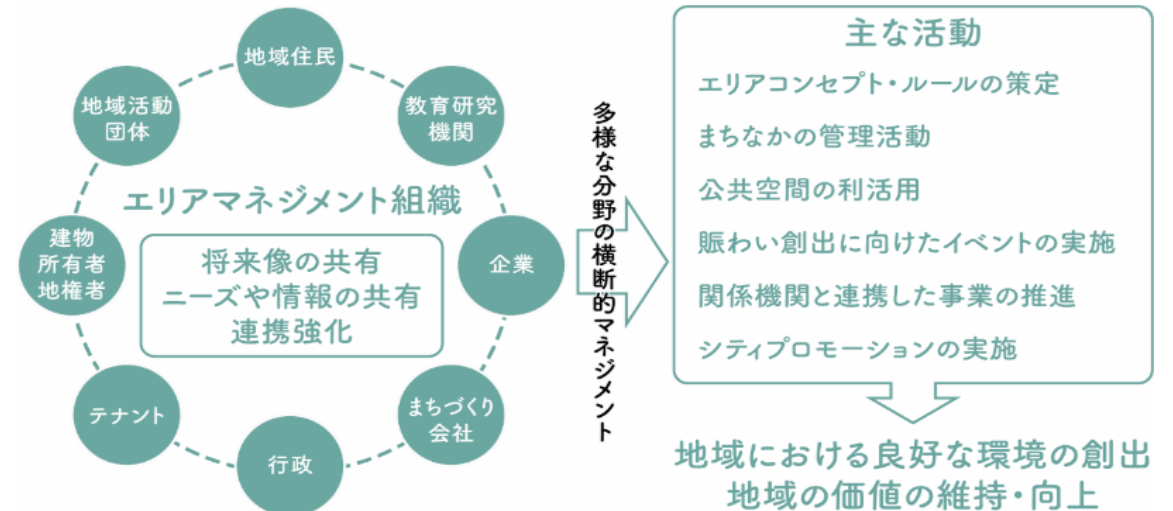
方針4

地域の魅力を育て、価値を共有する 「みんなが誇りを持てるまち」

観光案内所やデジタルサイネージによる観光の起点を形成
多様な主体によるエリアマネジメントの推進



▲JR宮崎駅構内の観光案内所(出典:宮崎市観光サイトHP)



▲エリアマネジメントのイメージ

今後の予定

- 議会・市民から意見聴取
パブリック・コメントの実施
- 第4回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議
- 秋頃に構想を策定予定